新飯能

発　行
日本共産党
飯能市委員会
９７３－１０９１

金子とし江
９７２－６４０１
山田とし子
９７３－４７１０
新井たくみ
９７８－０１７５
滝沢おさむ
９７２－３８７５

＜議員団の連絡先＞
973-2111（市役所416）
Mail　jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

介護保険

保険料が六六五〇円値上げに
お年寄りの負担は限界！

介護保険制度の大幅改定で、昨年十月から施設利用の食費、居住費が保険外となり、全額自己負担となりました。四月からは、介護予防重視として、軽度の要介護者のサービス利用が大きく変わってきます。同時に、保険料も大幅に見直しになります。

今まで五段階だった保険料段階が七段階になりました。現行の世帯非課税かつ本人非課税の場合、三段階で年額三万六六〇〇円が改定後では、四段階に位置づけられ、年額の保険料は四万二〇〇〇円になり、五四〇〇円（一四・八％増）の値上げとなります。

全平均では、六六四九円（十八％増）も引き上げられることになります。

【現行】

保険料段階	保険料率【年額】	人数
第1段階	0.5 【18,300円】	204（1.3%）
第2段階	0.75【27,400円】	4898（31.7%）
第3段階	1 【36,600円】	6220（40.2%）
第4段階	1.25【45,700円】	2321（15.0%）
第5段階	1.5 【54,900円】	1811（11.7%）

保険料基準額	
現行年額	改定年額
36600円	42000円

【改定後】　（平成18年度～20年度）

保険料段階	対象者	所得金額(※)	保険料率【年	人数
第1段階	生活保護者又は老齢福祉年金受給者	―	【21,000円】	218（1.3%）
第2段階	市民税非課税世帯かつ年金収入が80万円以下	80万円以下	【21,000円】	2566（15.3%）
第3段階	市民税非課税世帯かつ年金収入等が80万円超	80万～193.6万	【31,500円】	1283（7.7%）
第4段階	市民税課税世帯一かつ本人非課税	193.6万円以下	【42,000円】	5838（34.9%）
第5段階	本人課税かつ所得200万円未満	193.6万～320	【52,500円】	4899（29.3%）
第6段階	本人課税かつ所得200万円以上	320万円～	【63,000円】	1261（7.5%）
第7段階	本人課税かつ所得400万円以上	562.9万円～	【73,500円】	661（4.0%）

税制改悪で さらに深刻

さらに深刻なのは、税制改正で住民税非課税世帯だった人が課税になることによって新四段階になる人が二〇〇人、新五段階になる人が二五〇〇人おり、二段階引き上がってしまうことです。国も問題の重大性を無視できなくなって二年間の激変緩和措置として特例的な保険料が設けられましたが、平成二〇年は税制上の緩和措置もなくなることから一層深刻になることは明らかです。こうして三年ごとに値上げされる仕組みこそ問題です。自治体独自の支援策が求められます。

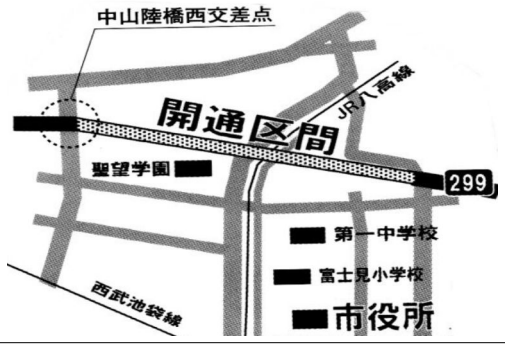
国道二九九号
中山バイパスが開通

国道二九九号飯能・狭山バイパス中山陸橋が、三月二九日午後一時に開通します。この陸橋はＪＲ八高線が交差する跨線橋で未開通だった七〇〇ｍの区間が完成したものです。平成十五年度から埼玉県が工事を行い、用地費を含め、三一億円を投じての完成です。

開通間近の中山陸橋

（狭山市笹井から斎場までは総工費一九一億円）バイパス整備とあわせて、陸橋の測道が市道として整備されました。

供用開始に先立って、午前一〇時三〇分から中山囃子連によるお囃子、西中吹奏楽部による演奏幼児・小学生によるバトントワリングなどのイベントが予定されています。



議員団ホームページ好評

日本共産党飯能市議団のホームページが開設され、２ヶ月が経過しました。アクセス数は一日平均４０～５０件程度、一ヶ月で１５００件近く訪問者があるようです。

引き続き、議員団の活動、地域の話題などなるべく新しい情報を提供したいと思います。同時に、みなさんからのご意見やご要望、身近な情報、写真などもメールで送って頂ければ、紹介したいと思います。

ＵＲＬは http//www.hanno-jcp.com
Yahooまたはgoogleで日本共産党飯能市議団の検索でアクセスできます。

波紋

「近ごろ不愉快なことは高金利のサラ金業者のテレビＣＭと、かつて一流と思っていた銀行がサラ金業者と一緒に広告を出していることだ」。与謝野馨金融相は日本共産党の大門実紀史議員の質問にこう答えました。その通りだと思います▼三井住友はプロミスを、三菱東京ＵＦＪグループはアコムを、みずほグループは武富士を傘下におさめ、大銀行は一％台の超低金利でサラ金に融資し、サラ金は利息制限法を上回る二〇数％の金利で暴利をあげているのです。大銀行とサラ金が一体となり、優良な客には銀行カードで貸し、リスクの高いところにはサラ金でという大銀行の態度には怒りがわいてきます。サラ金業者が高金利で莫大な利益をあげる一方で毎年二十数万人が自己破産に追い込まれていることをどう考えているのでしょうか▼それにしても、最高裁も無効とした利息制限法を超える金利で暴利をむさぼっているサラ金の広告がテレビや新聞で堂々とまかりとおっているのはどうしてなのでしょうか。テレビや新聞の姿勢にも大いに問題がありそうです。